



超高齢社会に向けた分野横断研究会 NEWS LETTER Vol. 6

発行：2021年7月 発行者：横浜市立大学 都市社会文化研究科 陳 礼美研究室 中井 紘

みんなで支える認知症高齢者

菅野 眞綾先生 金田 明子先生 (横浜市立大学 医学部 看護学科)

6月24日 Zoomにて、第6回目の研究会が開催されました。

菅野先生からは、認知症の種類や脳の機能等の総論に加え、認知症をもつ人とのコミュニケーション技術・ケアメゾットを4つご紹介いただきました。例えば、「パーソンセンタードケア」は、花の絵で表現されることが多く、人として無条件に尊重される「愛」を中心に、「共にあること」「自分らしさ」等の5つのニーズが花びらとして囲んでいます。当事者の思いを聞く、情報を集める、ニーズを見つけるという3つのステップを通してそのニーズを満たし、パーソンセンタードケアが示す「良い状態」を目指すメゾットです。

金田先生からは、認知症をもつ人が地域で暮らすことについて、実際にご経験された事例を交えてお話しいただきました。専門職が危機感を抱いていても、当事者と介護者の困り度合いが少なかったケースでは、本人たちの言葉を聞き、その背景や行動の理由を知ること、専門職のプランではなく、当事者のリズムを尊重した支援が実現したそうです。地域看護における看護師の立ち位置は、前面に出るのではなく、住民とフラットな関係性を築きつつも専門的な視点で見守り、変化に早く気付けることが不可欠である、とのことでした。

最後には、陳先生と三輪先生もご参加のもと、「ジョンセンの臨床倫理の4分割法」を、模擬事例のロールプレイ(役割演技)を通してご紹介いただきました。多職種や当事者、当事者家族が関わる会議で意見が対立したときに、思考を整理し、方針を決めるためのツールだそうです。今回は、胃ろうの建設を争点に、様々な立場からの意見がまとめられました。

次回研究会のお知らせ

第7回目の超高齢社会に向けての分野横断研究会は、7月26日(曜日)の18時00分から20時00分まで Zoom で開催いたします。通常と曜日が異なりますので、お間違いのないようお願いいたします。

「日本型のCCRCについて」をテーマに、株式会社三菱総合研究所 経営イノベーション本部兼未来共創本部 主席研究員 チーフプロデューサーの、松田 智生先生にお話しいただきます。

研究会 SNS のご紹介

研究会に関する情報を発信しております。ぜひフォローください！



Facebook グループ：<https://www.facebook.com/groups/chokoreishakai>



slack：研究会メールにご連絡いただきましたら招待させていただきます。*

研究会に関するご質問・ご要望などは koreisyhakai@gmail.com へ
お気軽にお問い合わせください！

